

呼吸器内科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

呼吸器疾患は内科疾患に占める割合が多く、特徴として生命を左右する緊急性の高い疾患を多く含むこと、迅速な診断、対応および治療が求められることなどが挙げられます。日常診療において的確な病歴聴取と身体所見、検査所見から呼吸器疾患を鑑別し緊急性の判断、迅速な初期治療を学ぶことは呼吸器内科後期研修において必須事項です。本プログラムでは、5年間で呼吸器専門医に求められる専門的知識・確実な技量の取得とを目標とし、他科との円滑な連携のとれるチーム医療の一員としてどこでも活躍できる呼吸器内科医としての基礎を固めることを目指します。



プログラムリーダー 浜松医科大学医学部内科学第二講座 教授 須田隆文

2 目的

この静岡県版プログラムは初期臨床研修を終えた医師を対象にしたもので、その目的は

- (1) 優れた呼吸器内科専門医を養成すること
- (2) 県内病院での活躍の場を優先的に提供し、静岡県民が安心して高度な呼吸器内科医療を県内のどこでも受けられるようにすること。
- (3) 静岡県外でも、推薦状等により国内の医療施設での活躍の場を確保することである。

3 目標

本プログラムは日本呼吸器学会専門医制度に準じたカリキュラムで行う。その大綱を別紙1に示す。

また、60ヶ月間に習得すべき必須技術・手術の内容の最低限の目標症例数を示す。

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1) 胸部X線透視 | 40件 |
| 2) 気管支鏡 | 50件 |
| 3) 末梢病巣擦過診 | 30件 |
| 4) 経気管支生検 (TBB)・経気管支肺生検 (TBLB) | 30件 |
| 5) 気管支肺胞洗浄 (BAL) | 30件 |
| 6) 内視鏡的気道吸引 | 10件 |
| 7) 胸腔穿刺法 | 20件 |
| 8) 動脈採血 | 60件 |
| 9) 酸素療法 | 40件 |
| 10) 吸入療法 | 40件 |
| 11) 人工呼吸管理 (NIPPVを除く) | 8件 |
| 12) NIPPV | 8件 |
| 13) 気管内挿管 | 10件 |
| 14) 心マッサージ | 15件 |
| 15) 胸腔ドレナージ | 10件 |

研修 5 年目の 10 月に行われる日本呼吸器学会呼吸器専門医資格認定試験の受験資格を取得する。

本プログラムの研修期間は 60 ヶ月である。下記に述べる特徴ある研修基幹病院を 1-2 年ずつローテーションする全県下型教育支援プログラムである。

(1) プログラムにおける研修・勤務期間は5年(60ヶ月)
2年毎に研修基幹病院をローテーションし、最終年度は原則1年間とする。

(2) 研修基幹病院での専修医用研修プログラムの実行：

- 1) 上記最低症例数の経験を含んだ研修カリキュラムに沿って研修を行う。
- 2) 研修基幹病院における1年目の研修では、その後の専門医としての技術・知識を高める基礎を築くため専修医の希望により循環器内科、消化器内科、救急科のローテートが可能である。その際も上記呼吸器研修内容の目標は、変わらずローテート後に研修カリキュラムに沿って研修を行う。

プログラムにおける研修・勤務期間は5年（60ヶ月）
2年毎に研修基幹病院をローテーションし、最終年度は原則1年間とする。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 2年目	研修開始 → A病院(基礎技術の研修、学会参加など)											
3. 4年目	B病院(基礎技術洗練、更なる症例の経験)											
5年目	C病院(更なる症例の経験、試験資格取得、試験など) → 研修終了											

7 研修病院群

2015-2016 年 研修指定基幹病院とプログラム責任者

①	浜松医科大学医学部附属病院	(教授・科長 須田隆文)
②	聖隷浜松病院	(部長 中村秀範)
③	聖隷三方原病院	(部長 横村光司)
④	浜松医療センター	(科長 笠松紀雄)
⑤	磐田市立総合病院	(副院長 安田和雅)
⑥	JA 静岡厚生連遠州病院	(診療副部長 黒石重城)
⑦	国立病院機構天竜病院	(副院長 白井正浩)
⑧	浜松赤十字病院	(部長 中野秀樹)
⑨	浜松労災病院	(部長兼院長補佐 豊嶋幹生)
⑩	藤枝市立総合病院	(部長 小清水直樹)
⑪	静岡県立総合病院	(呼吸器内科部長 白井敏博)
12	市立島田市民病院	(呼吸器内科主任部長 菅沼秀基)
13	静岡市立清水病院	(診療部長 増田昌文)
14	静岡市立静岡病院	(教育研修室科長兼呼吸器内科医長 山田孝)
15	静岡赤十字病院	(呼吸器科部長 志知泉 松田宏幸)

① 浜松医科大学医学部内科学第二講座（呼吸器内科）

研修指導医 教授 須田隆文

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会、日本結核病学会、日本肺癌学会、米国胸部疾患学会（ATS）、日本サルコイドーシス学会

資格：日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医

学会役員：日本呼吸器学会評議員、日本結核病学会理事、日本サルコイドーシス学会評議員、理事、日本呼吸器内視鏡学会評議員

【病院紹介】

浜松医科大学は浜松駅の北 8km の市街地を見下ろす半田山地区に位置しています。大学は 1974（昭和 49）年に新設された医科大学であり、歴史は浅いですが活気あふれる雰囲気です。呼吸器内科は内科学第二講座に属し、これまで数多くの呼吸器専門医を養成するとともに、研究面においても国際的な研究を数多く発表し、精力的に活動しています。

臨床においては、気管支鏡検査は週 2 回施行し、年間 300 件程度となっています。対象となる疾患は肺癌、感染症等様々ですが、他施設に比しびまん性肺疾患の割合が多いことが特徴のひとつです。さらに呼吸器外科と連携し、当初から外科的肺生検を積極的に行っています。現在までにびまん性肺疾患に対する胸腔鏡下肺生検（VATS）を含めた外科的肺生検症例は、当施設のみでも 400 件程度にのぼっています。これらの症例は毎週月曜日に行われる呼吸器内科のカンファレンスで検討を行い熱心なディスカッションの後、治療方針が決定されます。さらに関連病院の症例も交え、学外からのエキスパートの先生方を招いて興味深い症例や稀な症例を検討する浜松びまん性肺疾患研究会を年 2 回開催しています。この研究会は呼吸器専門医のディスカッションの場であると共に、若い医師の画像読影の研鑽の場ともなっています。また最近では、肺癌の割合も確実に増加してお

り、肺癌や感染症に対する臨床研究も積極的に行い、多くの興味深い知見も得ており、臨床現場への還元も積極的に行っています。以上のように、私たちは精力的に臨床および研究に邁進するとともに、特に臨床能力の習得を含め、若手の先生の教育にも力を入れています。また関連病院も静岡県内の地域の中心的総合病院が主であり、症例数の多さに加え、臨床面および教育面における当グループの層の厚さは定評となっています。是非呼吸器病学に興味のある先生方は、私たちのもとで研鑽を積んでいただければと思います。

浜松医科大学呼吸器内科HP→ <http://hamamatsu-lung.com>

② 聖隷浜松病院 呼吸器内科

研修指導医



部長 中村 秀範 1982 年卒

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会
日本アレルギー学会、日本肺癌学会、日本感染症学会、
米国胸部疾患学会

資格：日本内科学会指導医・内科認定医、日本呼吸器学会指導医・専門医、日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医、インфекションコントロールドクター（ICD）

【病院紹介】

当科には 3 名の呼吸器学会専門医が在籍しています。多彩で豊富な呼吸器疾患患者の日常診療を経験し、common な呼吸器疾患の基本的診療から、比較的高度な専門的医療まで楽しく学べると思います。

気管支鏡検査件数は多く、また県内でもいち早く超音波内視鏡（EBUS-GS, EBUS-TBNA）を導入し診断率の向上をはかっています（2010 年度：気管支鏡検査 387 件）。呼吸器外科および放射線診断科および腫瘍放射線科と定期的な合同カンファレンスを開催し、肺がんおよびびまん性肺疾患に関する集学的な診療をしています。また Respiratory Care Team の中心的メンバーとして院内すべての人工呼吸器装着患者への診療アドバイスをしています。

【特色】

- ・呼吸器は「全身疾患の鏡」であり全人的な診療を心がけています。
- ・呼吸器症例が多彩かつ豊富であり、短期間で経験値を高くできます。
- ・「良く学び、良く遊ぶ」が当科の方針です。
- ・希望があれば当院各科（呼吸器外科、救急科、総合診療内科、膠原病内科、神経内科、腎臓内科、内分泌内科、等）への短期ローテーションも可能です。

③ 聖隷三方原病院

研修指導医



呼吸器センター内科部長 横村 光司 (1992 年浜松医科大学卒)

資格：日本内科学会専門医 日本呼吸器学会指導医 日本呼吸器内視鏡学会専門医 日本アレルギー学会専門医

【病院紹介】

当院は、病床数 874 床(一般 750 床、精神 104 床、結核 20 床)の地域の中核的病院です。現在当科には、呼吸器学会指導医・専門医、アレルギー学会専門医、呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医の資格を有するスタッフが複数在籍しており、より専門性の高い診療及び教育が可能な状況を維持しています。静岡県西部はもとより静岡県中部や愛知県東部と、広範囲から患者さんが来院されるため、肺癌、呼吸器感染症(結核を含む)、間質性肺炎、COPD、気管支喘息等の主要な呼吸器疾患に加えて稀な疾患まで多くの患者さんの経験することが可能です。2010 年度の呼吸器内科への延べ入院患者数は約 1300 人、気管支鏡検査は約 300 件の実績があります。

肺癌の診療においては、通常の気管支鏡に加えて超音波気管支鏡や細径気管支鏡の使用、C T 下生検等により診断率の向上を図っており、呼吸器外科、放射線治療科、緩和支援治療科と密な連絡を取り、迅速かつ適切な医療の提供が出来る体制を取っています。

急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪時においても、早期にリハビリ科スタッフと協力して診療を行っており、必要に応じて NIPPV 等の補助換気も速やかに開始する準備が整っています。また、間質性肺疾患の診療においては、浜松医科大学呼吸器内科との連携により病理組織診断や治療に関して随時検討を行っています。

④ 浜松医療センター

研修指導医



科長 笠松 紀雄 1981 年卒 医学博士

資格： 日本内科学会認定医指導医 日本呼吸器学会専門医指導医
日本呼吸器内視鏡学会専門医指導医 日本禁煙学会認定指導医
日本がん治療暫定教育医

【病院紹介】

当院呼吸器科には日本呼吸器学会専門医・指導医3名、専門医1名がスタッフとして常勤し、6年目呼吸器専修医1名を加え総5名で外来、入院患者診療を運営し、またそれと平行して前期研修医が2〜3名、後期研修医のローテーション研修1名の指導を行っています。希望があれば複数年当科での研修は可能で、大学での研究、専門医取得など将来の相談にも親身に対応しています。当科で対応している疾患は①肺炎などの感染症、②肺癌、③COPD、気管支喘息、④間質性肺炎などのびまん性肺疾患、⑤慢性呼吸不全、⑥自然気胸、⑦睡眠時無呼吸症候群、など多岐にわたっています。その診断と治療を基本に、また肺は全身疾患の一臓器としての側面を持つことから、急性期には人工呼吸管理を含めた全身管理などを研修することが可能です。

当科入院患者は年間1200名（肺炎160名、肺癌250名、間質性肺炎100名、喘息/COPD100名、他）であり、年間気管支鏡検査は260件、毎日の受持ち患者は10-15名前後でやや多忙ではありますが指導医の暖かい指導を通して日常の臨床を学習してもらい、またスタッフ通しの親睦会等を通して、精神面を含めた研修期間の充実化を図っています。

⑤ 磐田市立総合病院

研修指導医



呼吸器内科部長 妹川 史朗

資格：1988年卒、医学博士・日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科認定医・日本呼吸器学会認定呼吸器指導医、専門医・日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡指導医、専門医・日本アレルギー学会専門医・指導医、日本結核病学会結核・抗酸菌認定医、がん治療認定医・インфекションコントロールドクター（ICD）

【病院紹介】

[研修体制] 当科は、浜松医大の協力のもと呼吸器外科と協働し、呼吸器内科指導医3名と専門医2名を中心としたチームで呼吸器疾患全般を診療しています。このほか、前期研修医や後期研修医各1〜2名がローテーションで研修しています。ガイドライン等に基づいた標準的診療を提供することを原則としつつ、臨床試験への参加等、新たな診療法も積極的に導入することを心がけています。[症例数・治療・成績] 年間入院患者数は年約1300、外来数は約11000です。入院患者さんの内訳(%)は肺癌等40、肺炎・胸膜炎等35、間質性肺炎10、気胸5、気管支喘息5、慢性呼吸不全等5です。気管支鏡検査は、年間300件程度を行っています。★肺癌新規患者数は年約150で、MDCT、細径気管支鏡やEBUS等の診断手技を駆使して診断し、手術・(定位)放射線治療・化学療法で集学的に治療するようにしています。★感染症には、各種迅速診断法や細菌学的・遺伝学的手法を用いて極力原因微生物を確定し、適宜TDIも行いながら適切な抗菌薬を投与しています。★抗酸菌PCRやQFT検査も院内で施行し、結核排菌疑い例は陰圧個室で隔離して診療しています。★胸膜炎・膿胸では、呼吸器外科とも協働して必要に応じて局所麻酔下胸腔鏡で胸膜生検

や部分的胸膜剥皮術を行って原因究明と治療に努めます。★びまん性肺疾患には、BAL・TBLB または VATS 下肺生検で確定診断し、ステロイド・免疫抑制剤等で治療を行います。★気管支喘息や COPD 等では、呼気中 NO、気道抵抗等呼吸機能を測定し、MDCT や MRI 等による画像診断と呼吸機能の関係の研究等を通じてより病態に迫るように努めています。

[ひとこと]一人ひとりの患者さんに向きあう臨床と、日常の臨床の合間を縫って行う研究や発表は、きっと先生方の skill を up してくれると思います。先輩の先生方と一緒に勉強しませんか？

⑥ JA 静岡厚生連遠州病院

研修指導医



診療副部長 黒石 重城 1998 年卒 医学博士

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本感染症学会、日本内視鏡学会

資格：呼吸器専門医、呼吸器指導医、内科認定医、内科専門医、アレルギー学会専門医、がん治療認定医

【病院紹介】

当院は平成 19 年 4 月に建物を移転改築し、市街中心部に地上 12 階、地下 1 階の新病院として診療をスタートさせました。病床数は 400 床で 2 次救急を担う急性期病院として地域の拠点病院となっています。呼吸器内科は指導医 1 名、専門医 2 名による合計 3 名で診療にあたっています。入院症例の多くは肺癌、肺炎、外来症例は COPD、気管支喘息、肺感染症が中心ですが、間質性肺炎やサルコイドーシスなどの呼吸器専門症例も多く紹介されてきており、呼吸器専門医以外にもアレルギー専門医（内科系）、がん治療認定医の習得を目指す医師にとって、幅広い呼吸器疾患を経験する事ができます。呼吸器疾患の診療に際しては他科との連携も非常に重要ですが、当院では他科との連携も良好で、呼吸器内科内の雰囲気も和気あいあいとしており働きやすい職場です。

【特色】

- ・幅広い呼吸器疾患の専門診療および手技の習得が出来る。
- ・呼吸器専門医以外にも内科認定医、アレルギー専門医、がん治療認定医の習得が可能。
- ・学会発表・学会参加には病院から参加費・宿泊費・交通費が支給される。
- ・研修中に担当した興味ある症例については、呼吸器関連学会への随時発表しており、発表準備は指導医と伴に行っている。
- ・3 年目の以降の医師には常勤スタッフと同じ給与待遇を受けることが出来る。
- ・病院内に保育園があり、育児中の研修も可能。
- ・希望者には内科他科での短期ローテーションも可能。

⑦ 国立病院機構天竜病院 呼吸器アレルギー科

研修指導医



副院長 白井 正浩 1986 年卒 医学博士

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本結核病学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本肺癌学会、日本化学療法学会、日本感染症学会

資格：内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、気管支鏡専門医・指導医、ICD、産業医

【病院紹介】

天竜病院は、浜松市の中央にあり、天竜区と浜北区にまたがる丘陵地に位置しています。東に天竜川、西には森林公園があり、患者さんの療養に適した地にあります。また浜松中心市街地から車で約 40 分、浜松医大からも 25 分と市内から通勤圏内にあります。昭和 15 年に結核診療所として開設された天龍荘が当院の始まりで、以来地域の呼吸器疾患診療のメッカとして歴史を刻んできました。むろん現在でも天竜区・浜北区における呼吸器の診療機関として高い評価をいただいております、診療や臨床研究がたゆまなくつづけられています。浜松医大からの援助もあり現在呼吸器アレルギー科に所属する医師は、計 7 名（うち指導医 2 名、専門医 2 名）となり県西部地域においても有数のスタッフを揃えています。当院は平成 24 年に新病棟が竣工され新たなハードで診療することになります。地域医療貢献のため、医師会との交流や公開講座、講演会も積極的に行っています。疾患では結核は減少しつつあるも、非結核性抗酸菌症、肺真菌症、COPD、間質性肺炎などが増加傾向にあります。

研修の場として、第一に当院は、気管支鏡だけでなく胸水症例の確定診断のために胸腔鏡検査も積極的に行っています。また呼吸器学会・アレルギー学会・呼吸器内視鏡学会の認定施設であり、それぞれ指導医が 2 名体制で指導に当たっているため、数カ月で気管支鏡・胸腔鏡といった専門医としてとりあえず必要な手技を身につけることができます。

第二に静岡県結核診療の拠点病院となっており、その診断と治療において指導的な立場にあるということです。院長および副院長は静岡県・浜松市の行政や教育機関とタイアップして結核対策を進める立場にあります。結核の罹患率は現在減少しており、一般の市中病院で経験することはまれになってきました。しかしながら、その見落としについては行政や法律も絡んで多大な影響を与えることはご存じのとおりです。呼吸器のスペシャリストになるためには、結核診断治療の経験は必須であり、今後一般病院においての患者の取り扱いにおいて大きな財産になることは間違いありません。今年第 10 回をむかえる当院主催の結核臨床講習会も、毎回好評をいただいております、多数の方々に参加していただいております。

第三に臨床研究部があり 毎年学会発表や英文の原著を報告しており、研究助手の助けのもとに臨床研究を行うことも可能です。

第四に現在呼吸器アレルギー科には常勤の子育て中の女性医師が 3 名所属しています。院内保育

所の整備や当直免除などの制度を積極的に取り入れて、育児中や妊娠中の方にも優しい病院として知られております。

【特色】

- ・呼吸器・アレルギーに関する専門的な手技を取得ができる。
- ・結核の診断・治療・感染対策について十分な経験を積むことができる。
- ・研修する際も常勤医と同等の給与待遇である。
- ・臨床研究部(院内標榜)があり、学会発表や論文の作成に携わることができる。学会や研究会の出張旅費・会場費や学会の年会費が供与される。
- ・女性医師の就労やキャリアアップを支援する制度がある。例えば院内託児所の整備・育児短時間勤務・当直免除
- ・浜松市内からも通勤可能圏内である。

⑧ 浜松赤十字病院

研修指導医



感染症内科部長 中野 秀樹 1995 年卒 医学博士

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、

資 格：日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医

【病院紹介】

当院は浜松市浜北区に位置し、北遠地区を中心に診療を行っています。

当科は2名在籍しており、日常診療に従事しています。

一般的な呼吸器疾患が中心ですが、基本的な診療手技を習得するのに適していると思われます。中規模病院のため数自体はそれほど多くはありませんが、気管支鏡・CT 下肺生検等の一般的検査も経験でき治療に生かすことが出来ます。

呼吸器外科はありませんが、肺癌や間質性肺炎に関しても当院でできない部分は、他院の協力を得つつ積極的に治療しております。(外科的肺生検等)

院内感染対策チームの一員として感染症に対する分析と対策も行っています。

【特色】

- ・ 内科全体の垣根がなくアットホームな雰囲気です。
- ・ 呼吸器疾患にとどまらず、広く内科疾患を研修できます。
- ・ 比較的一般的な疾患から稀な疾患まで幅広く経験することが出来ます。
- ・ 日本赤十字の一員として災害時に希望すれば救護班として行くことが出来ます。

⑨ 独立行政法人労働者健康福祉機構 浜松労災病院

研修指導医



呼吸器内科部長兼院長補佐 豊嶋 幹生 1989 年卒 医学博士

所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会
日本結核病学会

資格：日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器学会指導医
日本アレルギー学会専門医、日本アレルギー学会指導医、
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、抗酸菌症指導医、
インфекションコントロールドクター(ICD)

【病院紹介】

呼吸器疾患には、間質性肺炎や気管支喘息などの免疫アレルギー学的疾患・肺癌や胸膜中皮腫などの腫瘍性疾患・肺炎などの感染症など、多彩な疾患が含まれています。

また、いわゆる common disease のほか、希少肺疾患も経験することができます。習得すべき処置や手技として、気管支鏡検査や胸腔ドレナージ、人工呼吸管理などがあります。診療内容が、急性疾患や検査業務だけに偏っていないことから、救急や検査業務だけに忙殺されることなく、日常診療はもちろんのこと、臨床研究などにも時間を費やすことが可能です。自分のペースに合わせて、じっくり勉強しながら、診療したいという人に合っている診療科と言えます。

また、「肺は全身の鏡」と言われているように、膠原病や他臓器の悪性腫瘍など、他の内科系疾患との関連も深く、呼吸器疾患を診療できるようになることによって、内科系疾患全体に精通することが可能になり、医師として一生役に立つような内科医としての実力をつけることが可能です。

浜松労災病院 HP → <http://www.hamamatsuh.rofuku.go.jp/>

⑩ 藤枝市立総合病院

研修指導医



呼吸器科部長 小清水直樹 1990 年卒

所属学会：日本呼吸器科学会、日本アレルギー学会、日本感染症学会、日本呼吸器内視鏡学会、
日本内科学会、日本化学療法学会、日本結核病学会

資格：日本呼吸器学会指導医、日本アレルギー学会専門医、日本感染症学会専門医、

日本呼吸器内視鏡学会専門医、インфекションコントロールドクター(ICD)、
日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本化学療法学会抗菌化学療法指導医、日本結核病学会結核・抗酸菌認定医、死体解剖資格認定医

【病院紹介】

当院は藤枝市人口 14.5 万人の市立病院であり症例数は非常に豊富です。近隣の呼吸器内科が撤退したこともあり当科の果たすべき役割はさらに増加しています。スタッフ 4 名（指導医 1 名）、後期研修医 2 名です。

このプログラムでの当院の役割として、呼吸器内科に限らず内科学全般の知識・技量を身につけ、内科学会認定医を取得できる指導を行なっています。内科各科の診療レベルも充実しており、呼吸器内科に所属しながら内科中心のローテーションも可能です。各科とのコミュニケーションもとりやすく、定期的な院内学術カンファレンスの開催、院内図書館の充実（主要な洋書はだいたいそろっています）など内科学を勉強するには十分な環境が整っていると思います。

【特色】

- ・ 呼吸器内科としても、COPD、気管支喘息、肺感染症（結核病棟もあります）、肺癌、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群など呼吸器疾患全般を幅広く経験でき、呼吸器専門医を取得するのにも十分役立てる勉強、経験を積むことができます。
- ・ 平成 23 年度症例数 気管支鏡検査 73、肺がん（入院症例のみ）199、肺感染症（入院症例のみ）433、COPD・喘息（入院症例のみ）109、間質性肺炎（入院症例のみ）38、人工呼吸管理・NIPPV（入院症例のみ）56、在宅酸素療法（外来患者のみ）58、入院件数（呼吸器内科のみ）634

⑪ 静岡県立総合病院

研修指導医



呼吸器内科部長 白井敏博 1986 年卒

資格：日本内科学会	東海支部評議員，指導医，総合内科専門医，認定内科医
日本呼吸器学会	代議員，東海支部代議員，指導医，専門医
日本アレルギー学会	指導医，専門医
日本結核病学会	代議員，結核・抗酸菌症指導医・認定医
日本呼吸器内視鏡学会	指導医，専門医
インフェクションコントロールドクター（ICD）	

【病院紹介】

当院は地域がん診療連携拠点病院であり，入院診療の中心は肺癌です。PET センターの併設以降診断レベルが向上し，呼吸器外科，放射線科と一体化した集学的治療を行っています。また，県中部では最大規模の 50 床の結核病床を有し，県中東部全域の結核医療を担っています。肺癌，結核を除く呼吸器疾患では間質性肺炎（特発性および膠原病関連），過敏性肺臓炎やサルコイド

ーシスなどのびまん性肺疾患の専門的診療を浜松医科大学呼吸器内科との連携の下に行っています。外来診療は主に COPD，気管支喘息からなり，日本呼吸器学会認定施設のみならず日本アレルギー学会認定教育施設としてアレルギー疾患の診療にも対応しています。さらに，当院は日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり気管支鏡検査の技術習得と認定医の資格取得が可能です。

現在当科は上記のごとく，ベテラン，中堅，若手とスタッフが充実し，研修する環境が非常に整っています。呼吸器疾患全般の知識や技術の習得はもちろん，貴重な症例を掘り下げて学会報告したり，論文化することも卒後の年数に応じて指導しています。特に，当院は年 1 回の国際学会出張が許可されていますので活用するのが望ましいと思っています。さらに，基礎的な研究を希望する人には主に浜松医科大学大学院への入学の道が開かれています。当院なら充実した専門医研修を送ることが可能であると確信しています。

⑫ 市立島田市民病院

研修指導医：呼吸器内科主任部長 菅沼秀基 1988 年卒



資格：日本内科学会認定内科医

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡，専門医，指導医

日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医

【病院紹介】

当院の呼吸器内科の特徴は、呼吸器外科との連携の良さにあります。呼吸器内科と呼吸器外科が共通の外来・病棟で診療しており、毎朝集まる機会があり気軽に手術症例について相談できます。入院・外来とも患者数は大変多く、豊富な症例をみることができます。また、結核病棟を有するため排菌陽性の結核入院治療も経験できます。

喀血に対する気管支動脈塞栓術も放射線診断科と連携しておこなっております。また、放射線治療科の医師がカンファレンスに参加してくださるので、肺癌放射線治療についても詳細に相談できます。さらに、病理診断科とも週 1 回カンファレンスをおこなっており、実際の病理所見を病理医の説明のうえ勉強できるのも大変有用です。

⑬ 静岡市立清水病院

研修指導医：診療部長 増田昌文 1985 年卒



資格：日本内科学会認定医

日本呼吸器学会専門医指導医

日本アレルギー学会専門医

日本医師会認定産業医

インфекションコントロールドクター（ICD）

【病院紹介】

当院は静岡市清水区の医療を担う 500 床規模の拠点病院であり、救急センターからの緊急患者も含め幅広く専門性の高い診療を行っております。日本呼吸器学会認定施設、日本内科学会認定教育施設をはじめ、日本アレルギー学会認定教育施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本感染症学会専門医研修施設に認定されており、幅広い呼吸器疾患に関する知識と技術を習得できます。また、放射線科との連携により、CT をはじめとした画像診断の技術向上が望め、肺癌に対する放射線の定位照射には近隣の病院からも紹介患者を受け入れています。

⑭ 静岡市立静岡病院

研修指導医：教育研修室科長兼呼吸器内科医長 山田孝 1987 年卒



資格：

日本呼吸器学会指導医、日本結核病学会指導医、日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定医、日本内科学会専門医

日本アレルギー学会専門医

日本呼吸器内視鏡学会専門医

【病院紹介】

肺疾患を広く対象とした診療を行っています。疾患構成としては肺炎、肺気腫・COPD、肺癌が多くを占めています。検査、治療を内科的立場から積極的に行っており、局所麻酔下での胸腔鏡、気管

支動脈塞栓術、肺動静脈瘻塞栓術、EBUS-TBNA、EBUS-GS、高周波焼灼、APC を実施しています。気管支鏡検査では、ナビゲーションシステムが導入されています。また、シミュレーション・ラボ室で気管支鏡手技の練習が可能となっています。救急からも含め週に 20-30 人の新規入院があり、検査・治療ともに豊富な臨床経験ができます。

呼吸器外科との連携は密で、診断、治療の依頼を双方向で行っております。初期あるいは後期研修期間に呼吸器外科での研鑽も可能です。呼吸器外科での研修により、呼吸器内科の理解をより深いものにします。肺疾患に関しては、内科・外科を問わず幅広い経験が可能です。

⑮ 静岡赤十字病院

研修指導医

部長 松田宏幸 1993 年卒 医学博士



所属学会： 日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本肺癌学会

資格：日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医

【病院紹介】

当院は 1933 年に現在地で開院し、「人道」「博愛」の赤十字精神にのっとり、安心して身を任せることができる医療を提供することを理念としている地域中核病院です。現在は新棟建設を行っており、2016 年秋には 465 床で完成予定となっています。呼吸器科は 5 名の呼吸器内科医(指導医 1 名を含む)にて診療を行っており、呼吸器感染症・肺癌などの腫瘍性疾患・びまん性肺疾患・閉塞性肺疾患(気管支喘息、COPD)などの疾患について、エビデンスやガイドラインに基づきながらも、個々の症例に則した治療を行うように心がけております。

【特色】

- ・内視鏡検査については、通常の気管支鏡検査のほか、細径気管支鏡や超音波内視鏡(EBUS-TBNA)や局所麻酔下胸腔鏡なども積極的に行い、確定診断を得られるように努力しています。
- ・一般呼吸機能検査に加えモストグラフや呼気 NO も導入しており、気管支喘息や COPD の管理や評価を行っています。
- ・呼吸器外科と密に連携し、適応のある症例は速やかに外科的治療(肺癌・膿胸・気胸など)を行うように心がけています。
- ・間質性肺炎を含むびまん性肺疾患の診療については、胸腔鏡下肺生検にて病理学的検討を行い、浜松医科大学呼吸器内科とも連携しながら確定診断並びに治療を検討しています。

8 各病院の症例数

上記 7 を参照してください。

9 研修期間

研修・勤務期間は5年（60ヶ月）

10 プログラム参加の要件

このプログラムを有効に活用するためには、参加者は2年間の初期臨床研修期間中に、プライマリーケアの理解および全身管理、麻酔管理の技術を習得していることが必要である。

またプログラム参加に先立ち、日本呼吸器学会に所属すること。さらに日本呼吸器内視鏡学会に所属することが望ましい。

11 処遇

（1）身分：原則常勤（研修病院の都合により非常勤扱いになることもある）。

（2）給与：各病院の給与体系に従う。

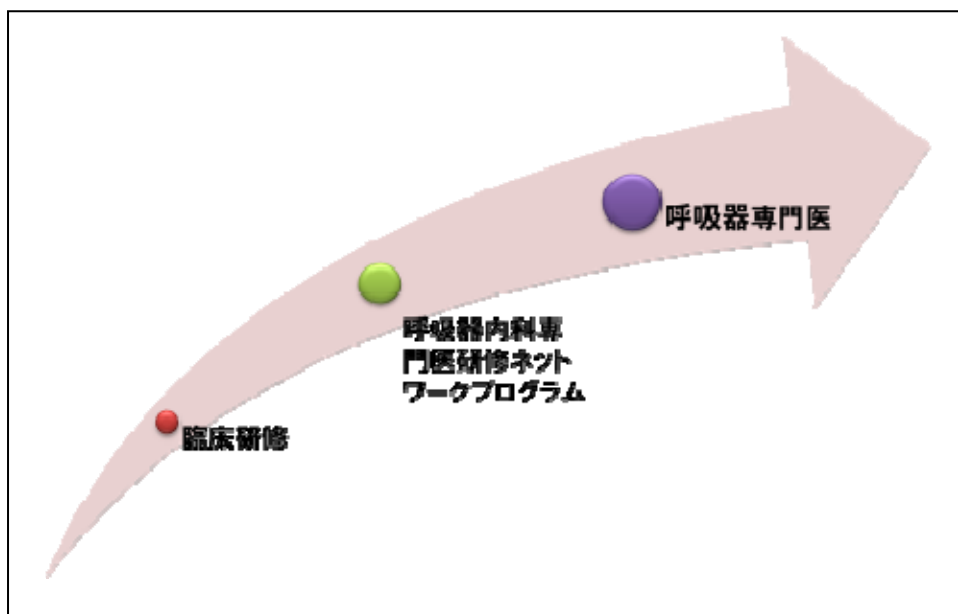
12 プログラム修了後の進路

（1）5年間の研修期間終了とともにプログラム上の雇用関係は解消される。

（2）プログラム終了後の就職先の選定は個人の自由であるが、県内病院に就職を希望する場合の就職相談にも応ずる。

（3）研修基幹病院には大学も含まれており、臨床研究、基礎研究、学位取得および海外留学などの相談も行うことができる。

研修修了後も見据えたキャリアプラン



13 プログラム運営委員会

本プログラムの管理は、静岡県呼吸器専修医管理委員会が行う。

14 その他

プログラム参加者の定員：

研修の効果を上げるために2015年度は5人とする。